
第4章

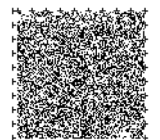
地区別構想

4－1 地区区分の設定

4－2 中央地区

4－3 西地区

4－4 東地区

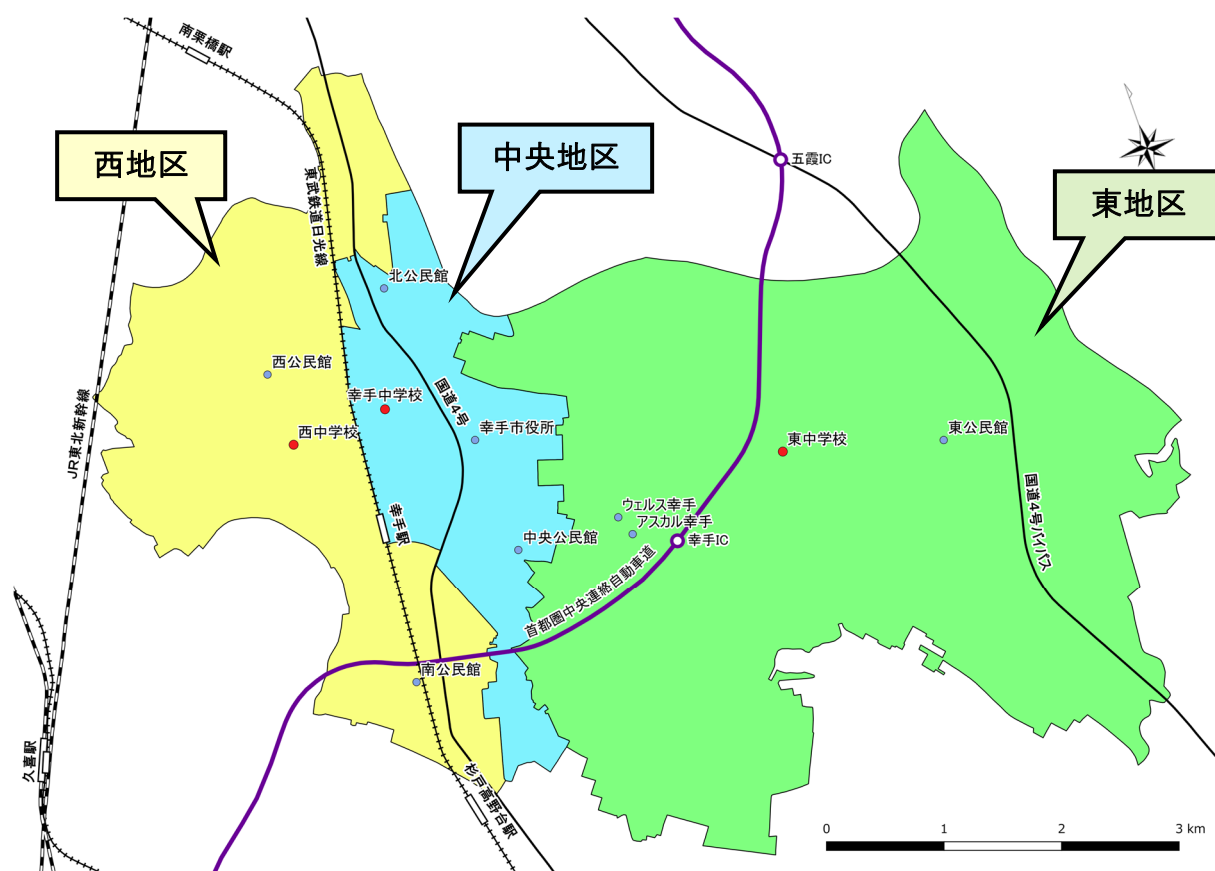


第4章 地区別構想

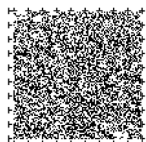
4-1 地区区分の設定

地区区分については、土地利用の状況や日常生活圏の状況等を考慮し、3つの中学校区（幸手中学校・西中学校・東中学校）を基本に、以下の3地区に区分し、身近なまちづくりの方針を示します。

図 地区区分の設定



地区名	対応する町丁目
中央地区	中一丁目～中四丁目 北一丁目～北三丁目 大字幸手（一部） 東一丁目～東五丁目 緑台一丁目～緑台二丁目 大字内国府間 大字上吉羽（一部） 大字権現堂（一部） 栄
西地区	中五丁目 南一丁目～南三丁目 大字幸手（一部） 西一丁目～西二丁目 大字中川崎 大字下川崎 大字千塚 大字円藤内 大字松石 大字高須賀 大字外国府間 大字上高野 上高野一丁目 香日向一丁目～香日向四丁目
東地区	大字権現堂（一部） 大字上吉羽（一部） 大字神明内 大字木立 大字惣新田 大字細野 大字下宇和田 大字上宇和田 大字下吉羽 大字西関宿 大字花島 大字中島 大字槇野地 大字戸島 戸島一丁目～戸島二丁目 大字吉野 吉野一丁目 大字天神島 天神島一丁目 大字平須賀 平須賀一丁目～平須賀二丁目 大字神扇 大字平野 大字中野 大字長間



4-2 中央地区

1 地区特性と課題

(1) 概況

- ①地区の北部と東部に一部市街化調整区域を含む地区ですが、幸手駅東口周辺を含めおおむねの範囲が市街化区域に含まれる地区です。
- ②幸手駅東口周辺及び都市計画道路中央通り線沿い、国道4号沿いに中心市街地が形成され、その周辺は住宅地が広がっています。
- ③地区の南部には幸手団地、緑台地区等の住宅団地が整備されています。
- ④市街化調整区域においては、大字幸手地区等の開発許可に基づく住宅地が形成されているほか、農地・集落地が形成されています。
- ⑤行政・防災拠点の市役所のほか、地域行政拠点の地区市民センター（中央公民館・北公民館）があります。
- ⑥地区の北部では、本市の代表的な観光資源の権現堂堤がある県営権現堂公園が整備されています。
- ⑦令和3年（2021年）の人口は、約21,000人と既に人口減少下にあり、目標年度である令和23年（2041年）には約13,000人と4割程度の減少が見込まれています。
- ⑧東一丁目、東三丁目、東五丁目、緑台一丁目、栄において、高い人口密度を示しています。また、中三丁目、東四丁目、緑台一丁目、緑台二丁目、栄において、高い高齢化率を示しています。

図 中央地区の位置図

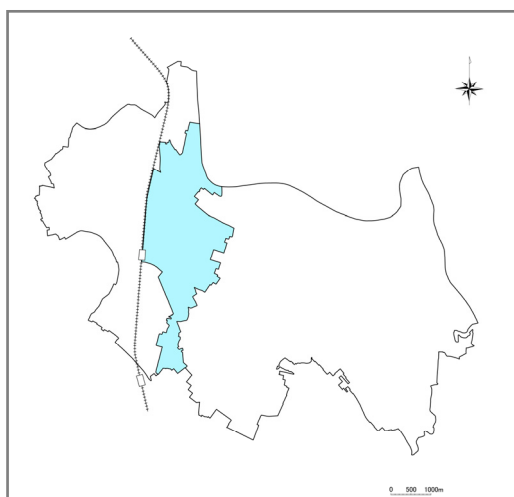
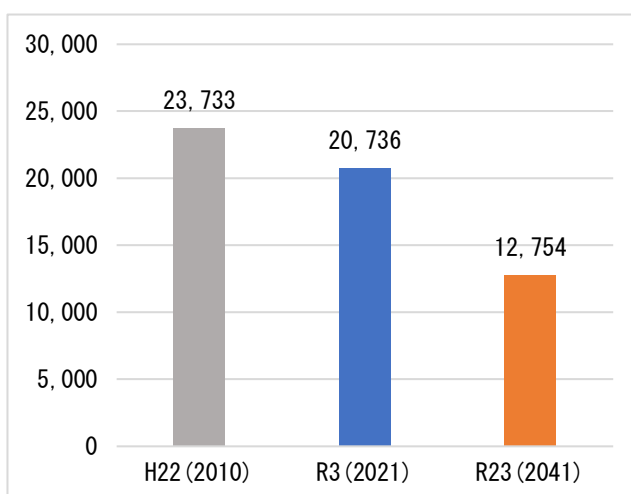


図 中央地区の人口推移（単位：人）



出典：国勢調査（H22）、住民基本台帳（R3）、第6次幸手市総合振興計画における人口推計

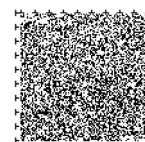


図 中央地区の人口密度（R3）

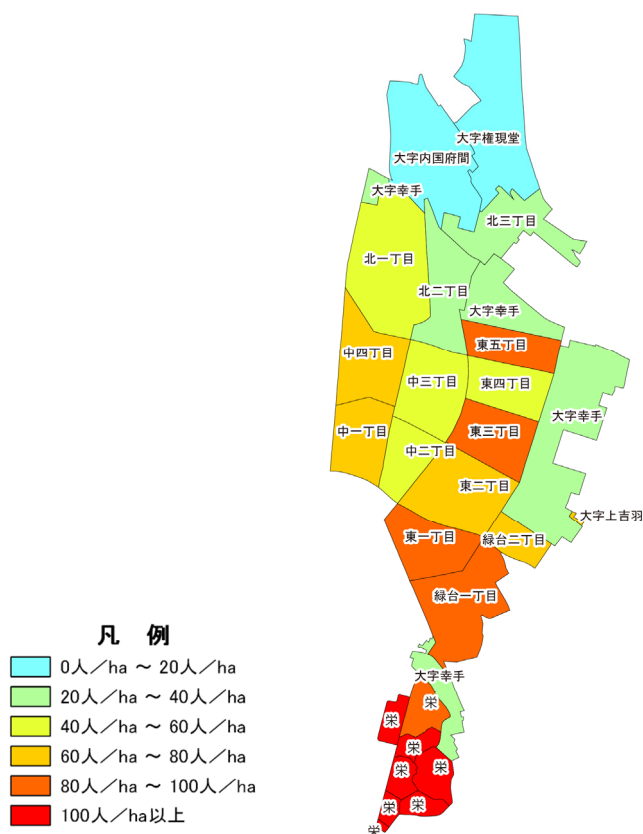
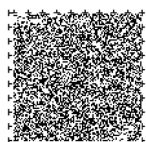
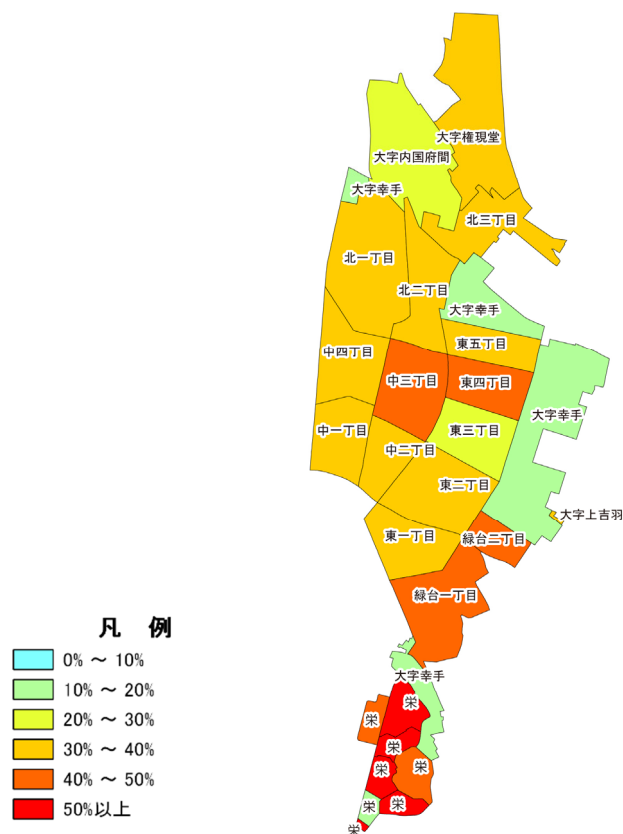


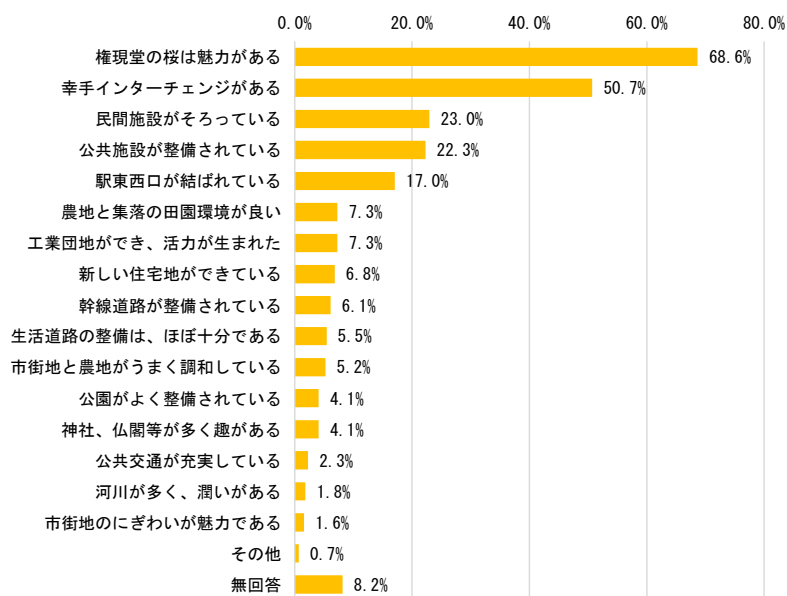
図 中央地区の高齢化率（R3）



(2) 地区住民意識（第2次幸手市都市計画マスタープラン策定のための市民意識調査）

【まちづくりに関して良いと思う点】

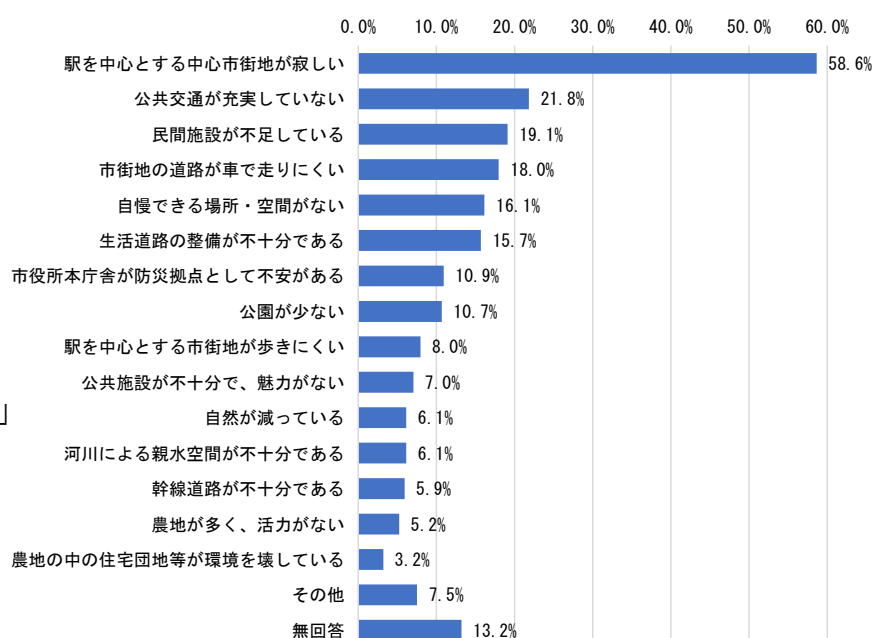
・「権現堂の桜は魅力がある」、「幸手インターチェンジがある」ことを、良いと思うと回答した割合が突出して高くなっており、次いで「民間施設がそろっている」、「公共施設が整備されている」、「駅東西口が結ばれている」ことを、良いと思うと回答した割合が高くなっています。



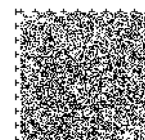
(N = 440)

【まちづくりに関して悪いと思う点】

・「駅を中心とする中心市街地が寂しい」ことを、悪いと回答した割合が突出して高くなっており、次いで「公共交通が充実していない」、「民間施設が不足している」、「市街地の道路が車で走りにくい」ことを、悪いと思うと回答した割合が高くなっています。



(N = 440)



（３）都市整備の現況と課題

- ①幸手駅東口周辺は、駅前広場及び都市計画道路幸手停車場線の整備が完了していますが、さらなる利便性と拠点性の向上が期待されます。
- ②都市計画道路幸手停車場線及び都市計画道路中央通り線に沿って市の中心的な商業地区が形成されるとともに、国道４号及び都市計画道路幸手五霞線に沿って商業施設の立地が進んでいます。
- ③国道４号西側の住宅市街地については、都市基盤の整備が十分でないことから、さらなる良好な住環境の形成が求められます。
- ④幸手団地については、建物の老朽化や入居者の高齢化が進行しています。
- ⑤都市計画道路中央通り線及び都市計画道路幸手鷲宮線の整備促進が求められます。
- ⑥幸手駅西口の開設に伴い、利用者のニーズに合わせた、交通結節点としてのさらなる機能強化が期待されます。
- ⑦本地区は、駅周辺の市街地を含み、比較的公共交通の利便性が高い地区と言えますが、公共交通の充実を求める声が多くあがっています。
- ⑧県営権現堂公園については、全国有数の観光名所である権現堂堤を有しており、多くの観光客が訪れています。
- ⑨幸手駅周辺の既成市街地については、まとまりのある緑や公園が少ない状況です。
- ⑩中川や倉松川沿いについては、水と緑を活かした環境整備が期待されます。
- ⑪主に倉松川沿いについて、浸水対策による災害に強い環境整備を進めていく必要があります。



幸手駅東口



幸手駅東西自由通路



幸手団地



倉松川

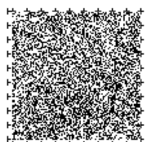
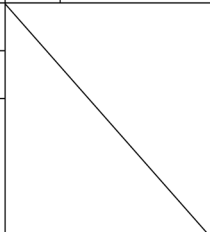
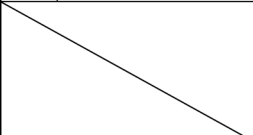
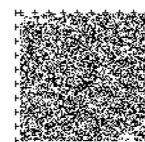


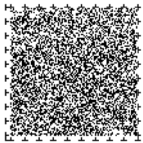
図 土地利用（用途地域等）及び都市基盤整備等状況図



凡 例					
	第一種低層住居専用地域		商業地域		行政・防災拠点
	第一種中高層住居専用地域		準工業地域		地域行政拠点・ 社会教育活動拠点
	第一種住居地域		農業振興地域		防災地区拠点
	準住居地域				都市公園
	近隣商業地域				首都圏中央連絡自動車道 (圏央道)
					幹線道路
					検討路線
					市街化区域

※ （都）：都市計画道路
（主）：主要地方道
（一）：一般県道





(4) まちづくりの将来像

幸手駅周辺の都市機能の集積や、権現堂公園等の緑との調和により、人々が活発に行き交うにぎわいと潤いのあるまち

2 まちづくりの方針

(1) 将来都市構造（土地利用）

- ①人口減少・少子高齢化の状況下においても、将来にわたり市の活力と利便性を維持していく観点から、幸手駅東口周辺において、商業施設、公共施設、医療・福祉施設等の多様な都市機能の集積を図り、コンパクトなまちづくりに寄与する複合市街地の整備を推進します。
- ②都市計画道路幸手停車場線、都市計画道路中央通り線及び国道4号を中心とした幹線道路の沿道において、商業施設やサービス業等の誘導を図り、まちなかの回遊性の向上に努めます。
- ③都市計画道路幸手五霞線及び都市計画道路幸手インター連絡線沿道については、広域的な交通の便を活かした土地利用を検討していきます。
- ④水と緑の拠点に位置づける県営権現堂公園については、桜の保全とともに広域公園として活用していきます。
- ⑤水と緑の軸に位置づける中川や倉松川沿いについては、快適な歩行環境等の整備を推進します。

(2) 安全・安心なまちづくり

- ①都市計画道路中央通り線及び都市計画道路幸手鷲宮線については、まちなかの回遊性や駅周辺の拠点への広域的な利用客に対応する重要な路線であることから、未整備区間の整備を図ります。
- ②国道4号の西側の中地区等については、狭あい道路の解消等、密集した市街地の改善を図ります。

(3) 安らぎのある快適なまちづくり

- ①幸手団地については、多様な世代が住み続けられるような住まいづくりの実現のため、UR都市機構と連携を図ります。
- ②幸手駅周辺の既成市街地について、新たな土地利用等を図る際には、公園の整備を図ります。
- ③幸手市開発行為等指導要綱で位置づけている指定水路について、1か所整備が完了していますが、残りの未整備箇所についても、緑化を伴った遊歩道等の実現に向けて努めます。

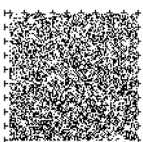
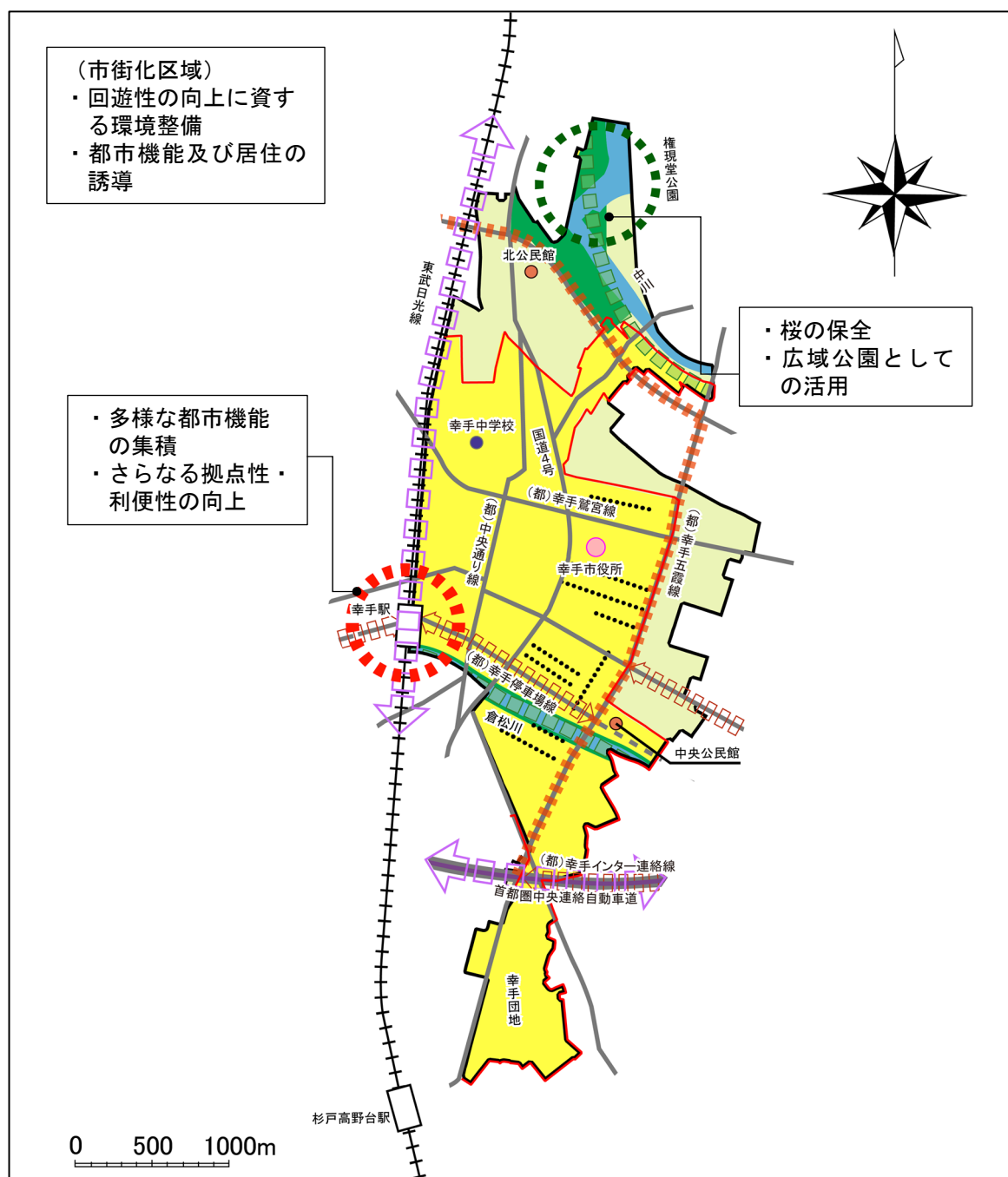
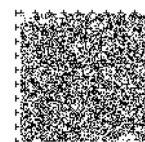


図 中央地区のまちづくり方針図



凡 例			
	中心拠点		ICアクセス軸 駅アクセス軸
	水と緑の拠点		広域連携軸
	行政・防災拠点		環状軸
	地域行政拠点・ 社会教育活動拠点		水と緑の軸
	防災地区拠点		首都圏中央連絡自動車道 (圏央道)
			幹線道路
			検討路線
			指定水路
			市街化区域

※ (都)：都市計画道路
(主)：主要地方道
(一)：一般県道



4-3 西地区

1 地区特性と課題

(1) 概況

- ①地区の中央部に位置する幸手駅西口周辺及び西側に位置する香日向地区において市街化区域に指定されていますが、その他おおむねの範囲が市街化調整区域に含まれる地区です。
- ②幸手駅西口地区については、現在、土地区画整理事業が推進されており、良好な市街地の形成に向けて整備が進められています。
- ③香日向地区については、良好な住宅団地が形成されています。
- ④市街化調整区域内では、千塚団地のほか、下川崎地区等で、開発許可制度に基づく住宅地が形成されています。
- ⑤地区の南部に位置する上高野地区については、都市計画道路三ツ家慶作線が整備されており、新たな産業系等の土地利用に向けて検討されています。
- ⑥地域行政拠点の地区市民センター（西公民館・南公民館）があります。
- ⑦地区の北部では、本市の代表的な観光資源の権現堂堤がある県営権現堂公園が整備されています。
- ⑧令和3年（2021年）の人口は、約22,000人と約10年前の平成22年（2010年）と比較して増加傾向にありますが、目標年度である令和23年（2041年）には約20,000人と1割程度の減少が見込まれています。
- ⑨西一丁目、西二丁目、香日向一丁目において、高い人口密度を示しています。また、大字高須賀、香日向一丁目、香日向二丁目において、高い高齢化率を示しています。

図 西地区の位置図

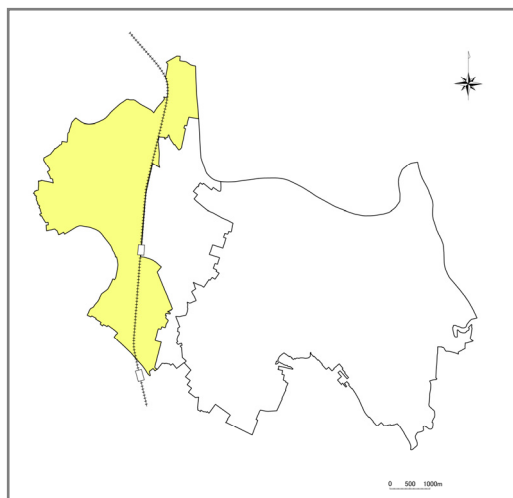
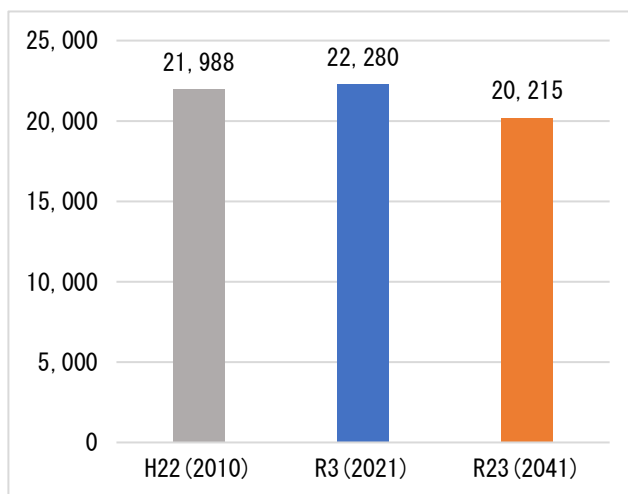


図 西地区の人口推移（単位：人）



出典：国勢調査（H22）、住民基本台帳（R3）、第6次幸手市総合振興計画における人口推計

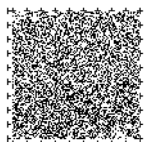


図 西地区の人口密度（R3）

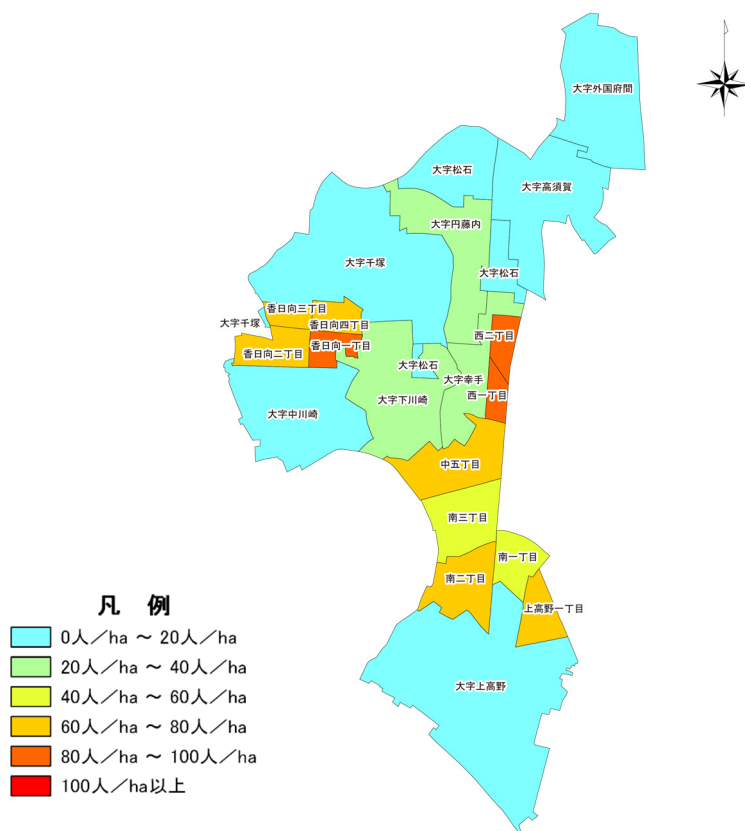
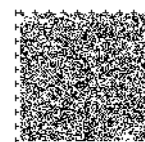
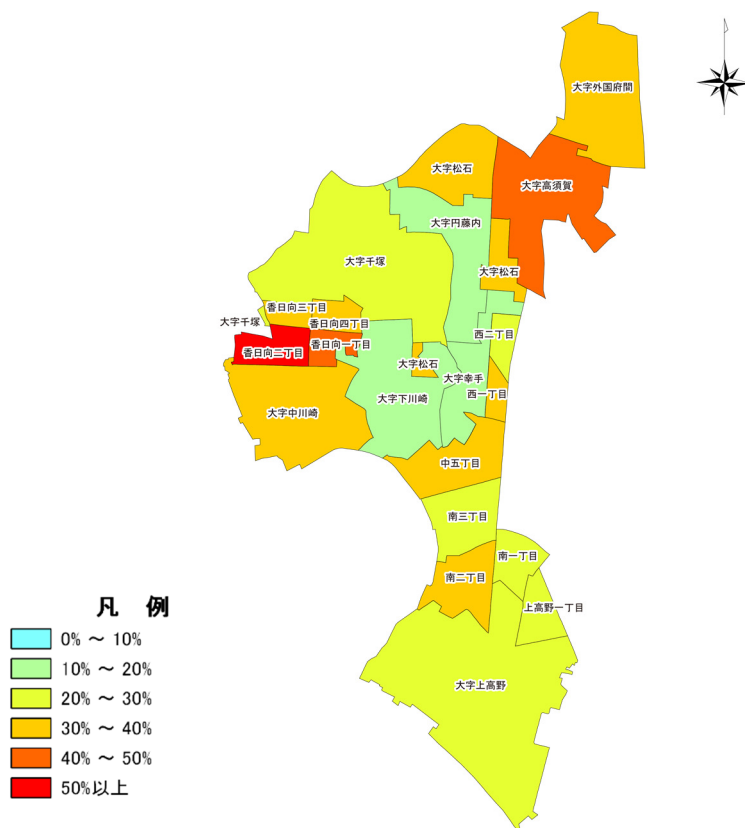


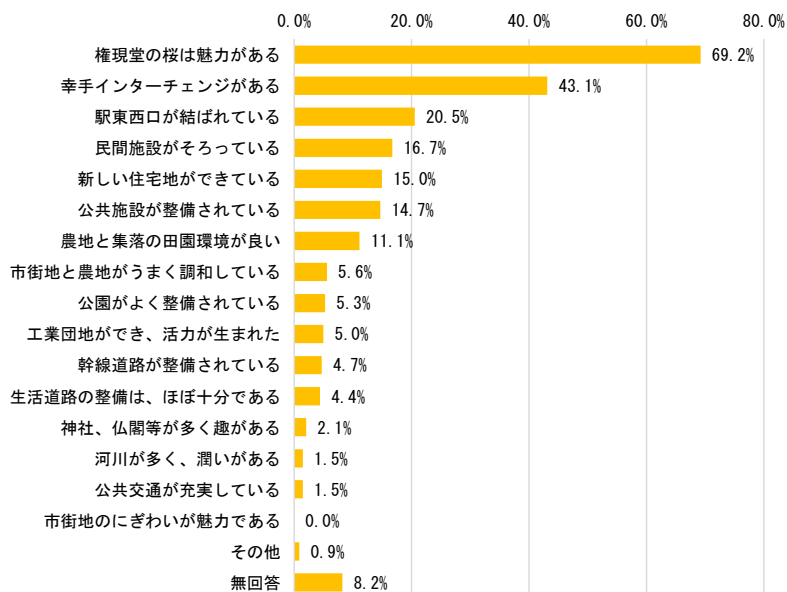
図 西地区の高齢化率（R3）



(2) 地区住民意識（第2次幸手市都市計画マスタープラン策定のための市民意識調査）

【まちづくりに関して良いと思う点】

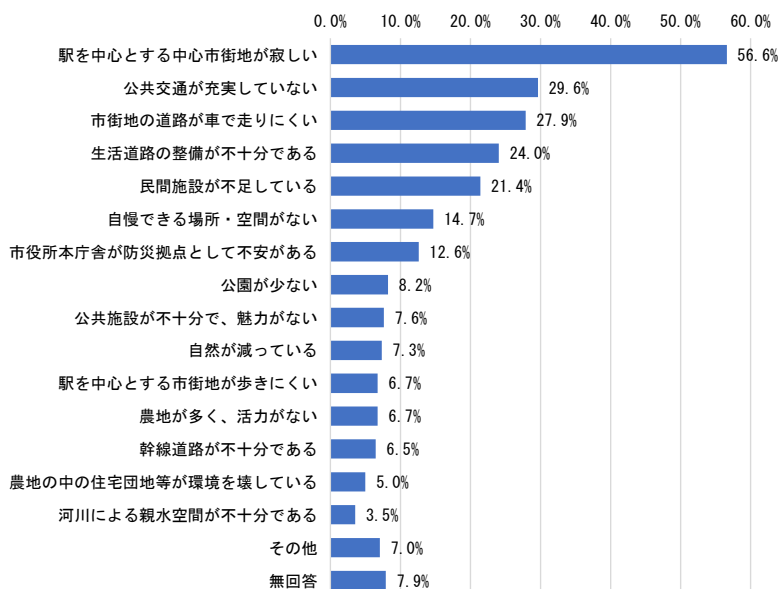
・「権現堂の桜は魅力がある」、「幸手インターチェンジがある」ことを、良いと思うと回答した割合が突出して高くなっており、次いで「駅東西口が結ばれている」、「民間施設がそろっている」、「新しい住宅地ができています」ことを、良いと思うと回答した割合が高くなっています。



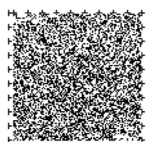
(N = 341)

【まちづくりに関して悪いと思う点】

・「駅を中心とする中心市街地が寂しい」ことを、悪いと回答した割合が突出して高くなっており、次いで「公共交通が充実していない」、「市街地の道路が車で走りにくい」、「生活道路の整備が不十分である」ことを、悪いと思うと回答した割合が高くなっています。



(N = 341)



(3) 都市整備の現況と課題

- ①幸手駅西口地区については、魅力ある都市機能の誘導を含め、良好な住環境を有した市街地形成に向けた土地区画整理事業の推進が期待されます。
- ②上高野地区については、周辺環境との調和のとれた産業系等の土地利用の形成が期待されます。
- ③香日向地区については、良好な住宅団地が形成されていることから、将来にわたり住環境を維持していくことが求められます。
- ④東武日光線西側の中五丁目、西一丁目、西二丁目の住宅市街地については、都市基盤の整備が十分でないことから、さらなる良好な住環境の形成が求められます。
- ⑤市の北西部は、農振農用地に指定されている地域が含まれており、周辺集落と一体的に農地を保全していく必要があります。
- ⑥都市計画道路西口停車場線及び都市計画道路杉戸幸手栗橋線については、未整備区間の整備が求められます。
- ⑦一般県道幸手久喜線や一般県道さいたま幸手線については、歩行者の安全性の確保が求められます。
- ⑧市街化調整区域については、生活道路を整備していく必要があります。
- ⑨幸手駅西口の開設に伴い、利用者のニーズに合わせた、交通結節点としてのさらなる機能強化が期待されます。
- ⑩本地区は、駅周辺の市街地や香日向地区のほか、市街化調整区域でありながら住宅が多い地区が含まれており、公共交通の充実を求める声が多くあがっています。
- ⑪県営権現堂公園については、全国有数の観光名所である権現堂堤を有しており、多くの観光客が訪れています。
- ⑫東武日光線西側の住宅市街地については、日常利用のための公園が少ない状況です。
- ⑬中川や倉松川沿いについては、水と緑を活かした環境整備が期待されます。
- ⑭地区内の公共下水道計画区域のうち、未整備の区域については、早期の整備が求められます。
- ⑮中川や大中落悪水路及び中落悪水路等については、災害に強い環境整備を進めていく必要があります。
- ⑯駅アクセス軸である都市計画道路西口停車場線については、良好な歩行環境を備えた景観形成が期待されます。

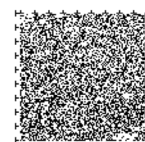
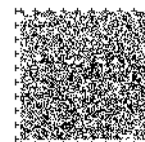
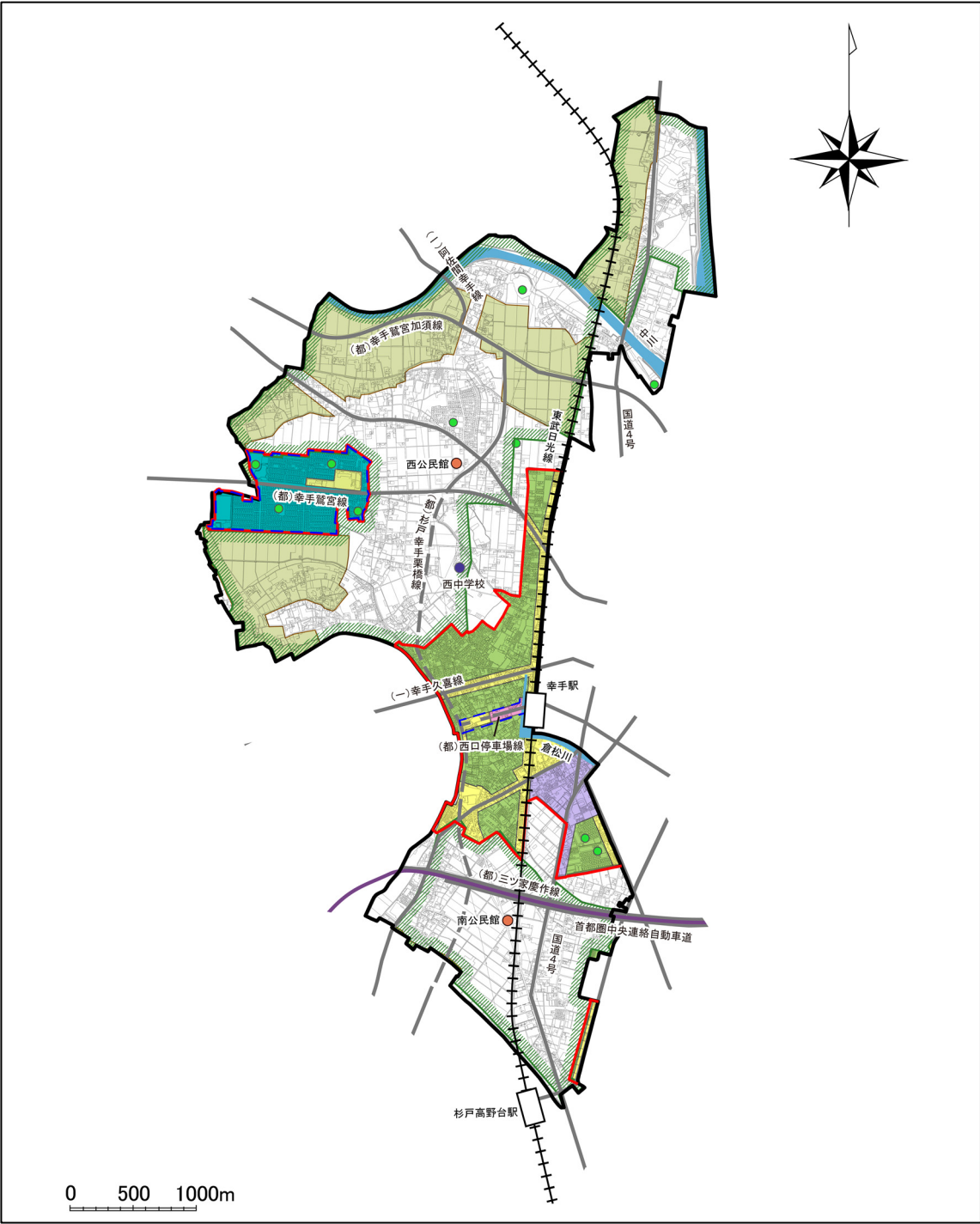
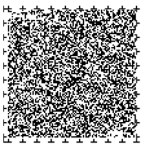


図 土地利用（用途地域等）及び都市基盤整備等状況図



凡 例			
	第一種低層住居専用地域		近隣商業地域
	第一種中高層住居専用地域		準工業地域
	第二種中高層住居専用地域		地区計画
	第一種住居地域		農用地区域
			農業振興地域
			市街化区域
	地域行政拠点・社会教育活動拠点		防災地区拠点
	都市公園		首都圏中央連絡自動車道（圏央道）
	幹線道路		幹線道路（未整備）
	市街化区域		

※（都）：都市計画道路
（主）：主要地方道
（一）：一般県道



(4) まちづくりの将来像

新たな土地利用の形成等による、都市的市街地の形成と豊かな自然環境が融合する、潤いと快適さを感じられるまち

2 まちづくりの方針

(1) 将来都市構造（土地利用）

- ①幸手駅西口地区については、土地区画整理事業の推進に伴い、市民のニーズに応じた魅力ある都市機能の誘導を図ります。
- ②産業拠点に位置づける上高野地区については、市街化区域の編入を視野に入れ、幹線道路の交点となる都市的土地利用のポテンシャルの高さを活かし、周辺の住宅市街地や営農環境との調和に配慮しつつ、新たな産業系等の土地利用に向けて検討します。
- ③農振農用地に指定されている優良な農地については、農業生産基盤の整備等により、周辺集落と一体となった保全を図ります。
- ④水と緑の拠点に位置づける県営権現堂公園については、桜の保全とともに広域公園として活用していきます。
- ⑤水と緑の軸に位置づける中川や倉松川沿いについては、快適な歩行環境等の整備を推進します。

(2) 安全・安心なまちづくり

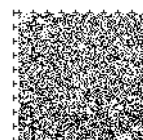
- ①都市計画道路西口停車場線及び都市計画道路杉戸幸手栗橋線については、未整備区間の整備を図ります。
- ②一般県道幸手久喜線や一般県道さいたま幸手線については、歩道整備等による歩行者の安全性の確保を図ります。
- ③東武日光線西側の中五丁目、西一丁目、西二丁目等については、都市基盤が十分に整備されていないことから、狭あい道路の解消等、密集した市街地の改善を図ります。
- ④中川や大中落悪水路及び中落悪水路等については、浸水対策等による災害に強い環境整備を促進するとともに、関係機関との連携により倉松川の河川改修を促進します。



幸手駅西口



都市計画道路西口停車場線



（３）安らぎのある快適なまちづくり

- ①幸手駅西口地区については、地区計画の導入等により、良好な住環境を形成します。
- ②香日向地区については、引き続き地区計画の適切な運用により、良好な住環境の保全に努めます。
- ③地区内の公共下水道計画区域のうち、幸手駅西口地区や香日向地区等を含むおおむねの範囲で公共下水道が未整備となっているため、早期の整備完了を図ります。
- ④東武日光線西側の住宅市街地については、新たな土地利用等とあわせた市街地内の公園の整備や緑地の保全を図ります。
- ⑤幸手駅西口地区については、土地区画整理事業の推進に伴う魅力的な都市空間の創出に向けて、倉松川を活かした親水公園の整備を進め、自然環境との調和のとれた景観形成を図ります。
- ⑥駅アクセス軸である都市計画道路西口停車場線については、無電柱化を推進し、良好な歩行環境を備えた景観形成を図ります。
- ⑦香日向地区の銀杏並木や緑道の保全に努め、良好な景観形成を図ります。
- ⑧幸手市開発行為等指導要綱で位置づけている指定水路について、緑化を伴った遊歩道等の実現に向けて努めます。



都市計画道路杉戸幸手栗橋線



香日向地区の住宅地

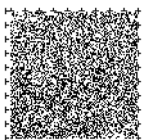
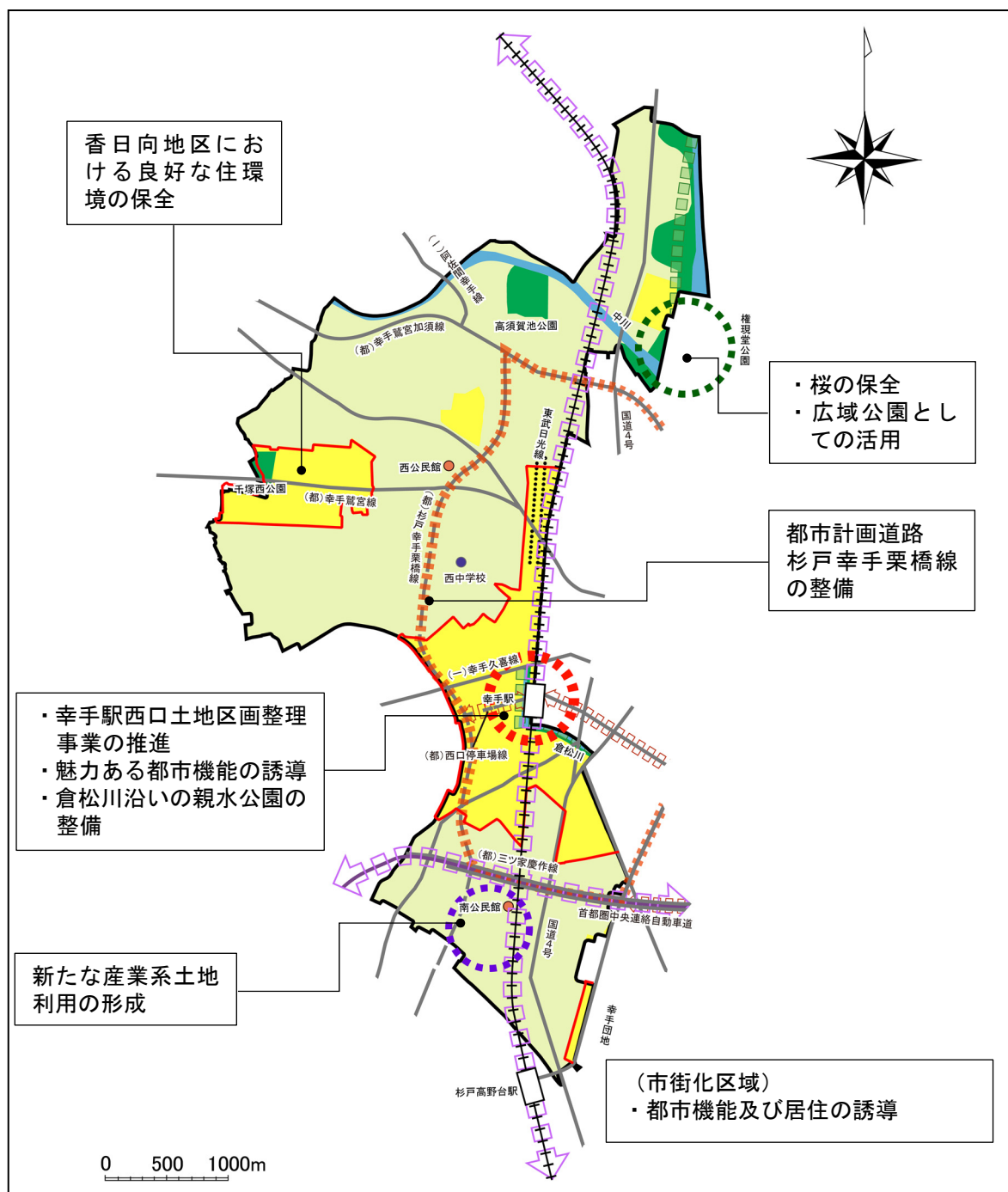
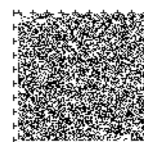


図 西地区のまちづくり方針図



凡 例			
	中心拠点		ICアクセス軸 駅アクセス軸
	産業拠点		広域連携軸
	水と緑の拠点		環状軸
	地域行政拠点・ 社会教育活動拠点		水と緑の軸
	防災地区拠点		首都圏中央連絡自動車道 (圏央道)
			幹線道路
			幹線道路(未整備)
			指定水路
			市街化区域

※ (都) : 都市計画道路
(主) : 主要地方道
(一) : 一般県道



4-4 東地区

1 地区特性と課題

(1) 概況

- ①地区の北部には、幸手工業団地や幸手ひばりヶ丘工業団地が整備されています。
- ②地区の中央部には、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）幸手ＩＣが位置しており、幸手中央地区産業団地が隣接して整備されています。
- ③現在、幸手中央地区産業団地の東側への拡大や、戸島地区において、新たな産業系の土地利用に向けた検討が進められています。
- ④本地区のほとんどの範囲は市街化調整区域に指定され、農村集落が点在しています。
- ⑤行政・防災拠点に位置づける保健福祉総合センター（ウェルス幸手）や、社会教育活動拠点に位置づける市の代表的な文化・スポーツ施設である市民文化体育館（アスカル幸手）があります。
- ⑥地区の東部には、地域行政拠点の地区市民センター（東公民館）、社会教育活動拠点に位置づける郷土資料館があります。また、市外につながる幹線道路である、国道４号バイパスが通っています。
- ⑦令和３年（２０２１年）の人口は、約７，１００人と既に人口減少下にあり、目標年度である令和２３年（２０４１年）には約５，８００人と２割程度の減少が見込まれています。
- ⑧人口密度は地区全体で低く、高齢化率は地区全体で高くなっています。

図 東地区の位置図

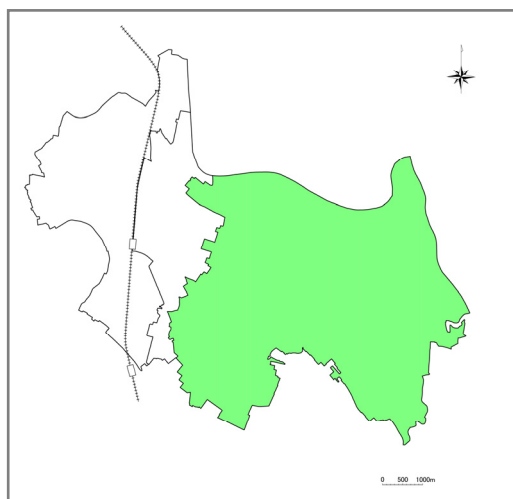
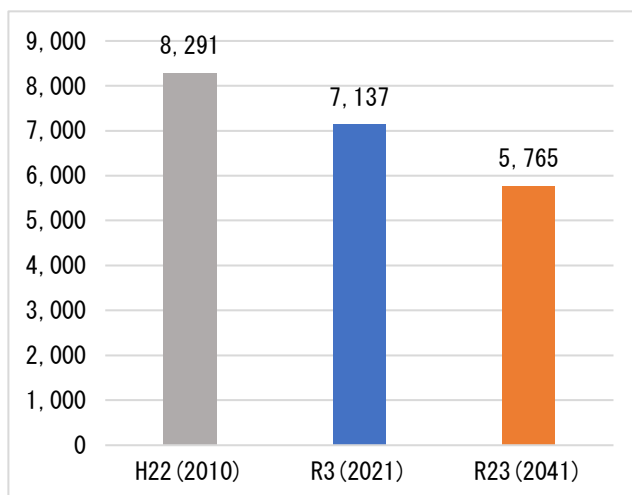


図 東地区の人口推移（単位：人）



出典：国勢調査（H22）、住民基本台帳（R3）、第6次幸手市総合振興計画における人口推計

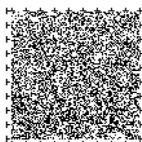


図 東地区の人口密度（R3）

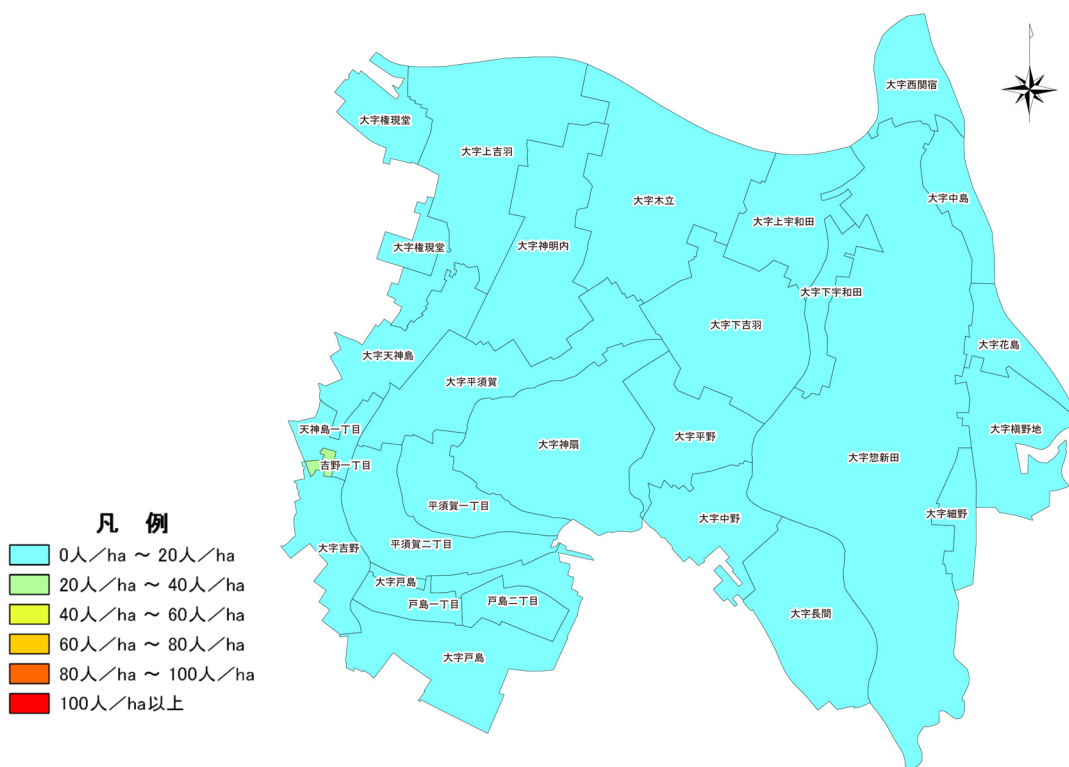
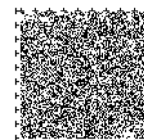
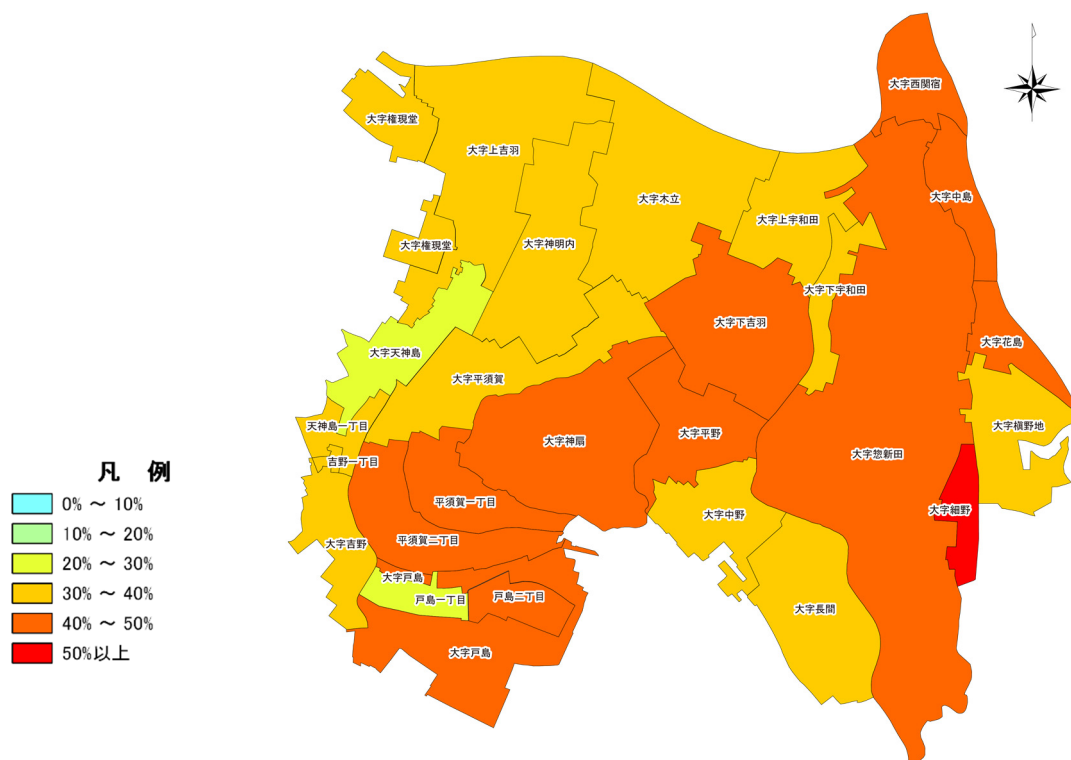


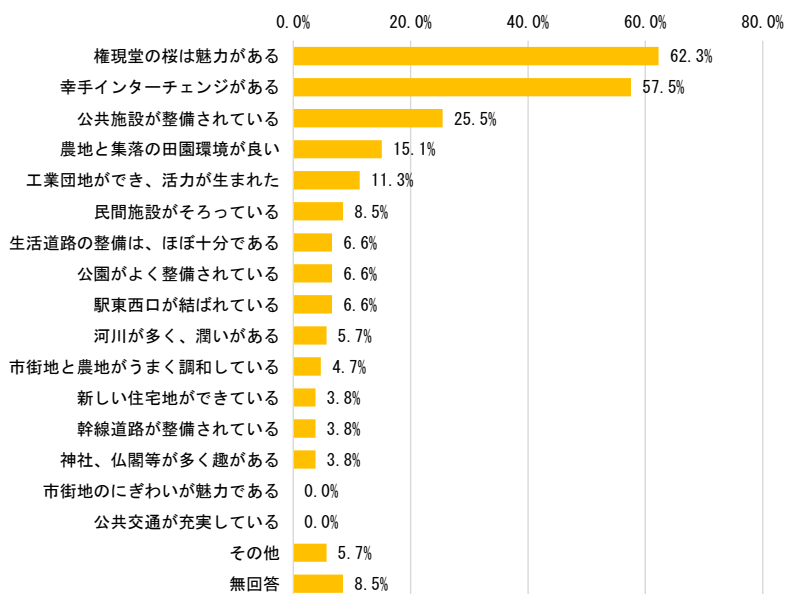
図 東地区の高齢化率（R3）



(2) 地区住民意識（第2次幸手市都市計画マスタープラン策定のための市民意識調査）

【まちづくりに関して良いと思う点】

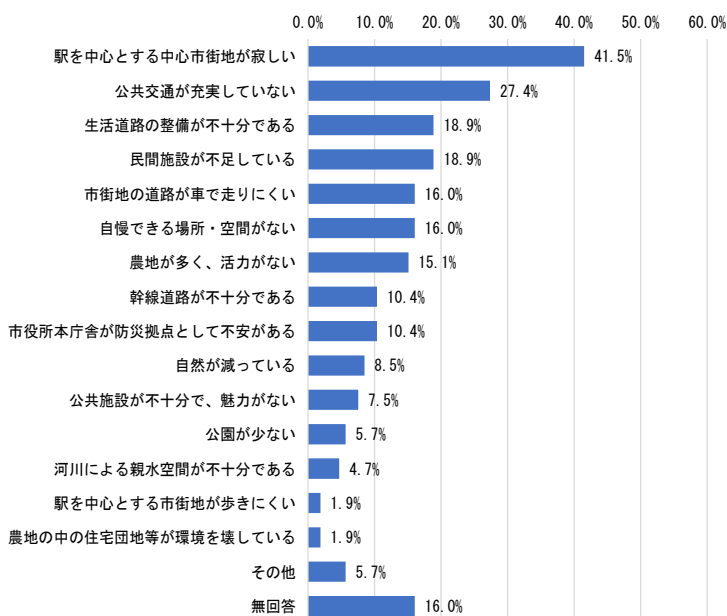
・「権現堂の桜は魅力がある」、「幸手インターチェンジがある」ことを、良いと思うと回答した割合が突出して高くなっており、次いで「公共施設が整備されている」、「農地と集落の田園環境が良い」、「工業団地ができ、活力が生まれた」ことを良いと思うと回答した割合が高くなっています。



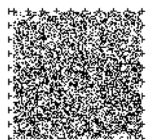
(N = 106)

【まちづくりに関して悪いと思う点】

・「駅を中心とする中心市街地が寂しい」ことを、悪いと回答した割合が突出して高くなっており、次いで「公共交通が充実していない」、「生活道路の整備が不十分である」、「民間施設が不足している」、「市街地の道路が車で走りにくい」、「自慢できる場所・空間がない」ことを、悪いと思うと回答した割合が高くなっています。



(N = 106)



（３）都市整備の現況と課題

- ①既存の産業拠点である幸手工業団地や幸手ひばりヶ丘工業団地、幸手中央地区産業団地については、今後もその活力と土地利用を維持していく必要があります。
- ②首都圏中央連絡自動車道（圏央道）による交通アクセスの長所を活かし、幸手中央地区産業団地の東側の拡大や、戸島地区における新たな産業系の土地利用の誘導が期待されます。
- ③本地区の大半を占める農村集落については、将来にわたり営農環境を維持していく必要があります。
- ④首都圏中央連絡自動車道（圏央道）や国道４号バイパス等の市外とつながる幹線道路との接続性を高めるため、都市計画道路惣新田幸手線バイパスの整備が課題となっています。
- ⑤市街化調整区域については、生活道路を整備していく必要があります。
- ⑥本地区は、市街化調整区域を多く含む地区であり、公共交通の充実を求める声が多くあがっています。
- ⑦中川や江戸川、倉松川沿いについては、水と緑を活かした環境整備が期待されます。
- ⑧地区北部の幸手工業団地及び幸手ひばりヶ丘工業団地について、工業団地の排水処理は現在各企業個別に行われています。
- ⑨中川や江戸川、倉松川等については、災害に強い環境整備を進めていく必要があります。
- ⑩本地区に多く存在し、本市の特長の一つである田園環境の保全が求められます。



圏央道幸手 IC（久喜市方面）



圏央道幸手 IC（五霞町方面）



都市計画道路惣新田幸手線バイパス



中川

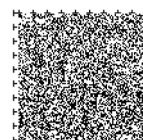
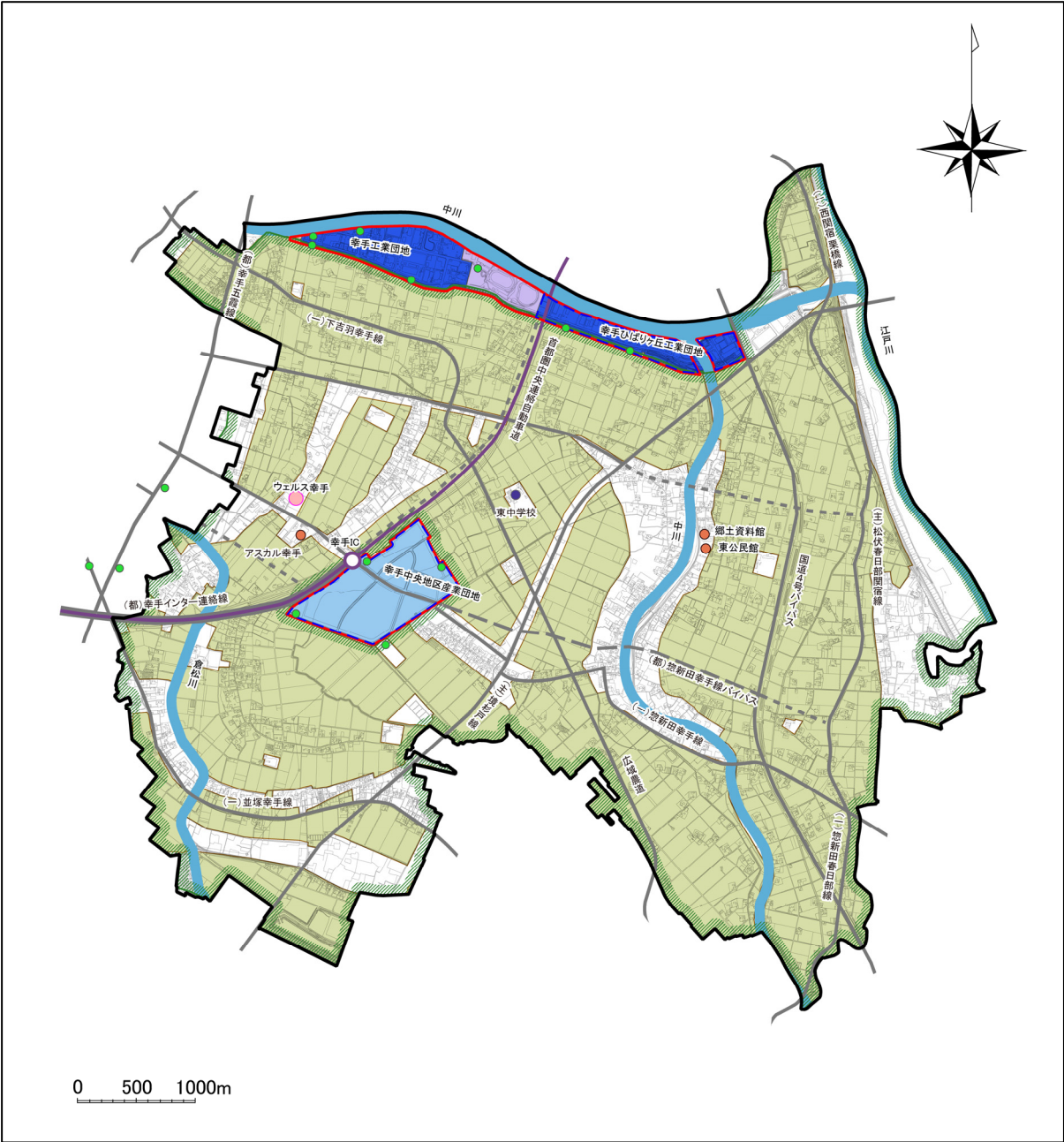
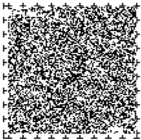


図 土地利用（用途地域等）及び都市基盤整備等状況図



凡 例		
準工業地域	行政・防災拠点	首都圏中央連絡自動車道（圏央道）
工業地域	地域行政拠点・社会教育活動拠点	幹線道路
工業専用地域	防災地区拠点	幹線道路（未整備）
地区計画	都市公園	検討路線
農用地区域		市街化区域
農業振興地域		

※（都）：都市計画道路
（主）：主要地方道
（一）：一般県道



(4) まちづくりの将来像

豊かな自然環境が生活に溶け込む農村集落と、市の未来を創造する産業が調和する、潤いと活力のあるまち

2 まちづくりの方針

(1) 将来都市構造（土地利用）

- ①都市基盤整備等が完了し、既存の産業拠点である幸手工業団地、幸手ひばりヶ丘工業団地及び幸手中央地区産業団地については、周辺環境との調和に配慮しつつ良好な生産環境を維持するとともに、市の経済活力を支える観点から、将来にわたり継続的な立地を維持していきます。
- ②幸手中央地区産業団地の東側への拡大や戸島地区については、将来的な市街化区域の編入を視野に入れ、周辺との調和に配慮した新たな産業系の土地利用に向けた検討を進めていきます。
- ③本地区に多く存在する優良な農地については、農業生産基盤の整備等、周辺集落と一体となった保全を図ります。
- ④水と緑の軸に位置づける中川や江戸川、倉松川沿いについては、快適な歩行環境等の整備を推進します。特に、中川沿いについては、既存の公園等を活用し、ふれあい散策路等の整備を図ります。

(2) 安全・安心なまちづくり

- ①都市計画道路惣新田幸手線バイパスについては、未整備区間の整備を促進します。
- ②市街化調整区域については、生活道路等の整備・拡幅を推進します。
- ③江戸川、中川、倉松川、用水路等については、浸水対策等による災害に強い環境整備を促進します。

(3) 安らぎのある快適なまちづくり

- ①地区北部の幸手工業団地及び幸手ひばりヶ丘工業団地については、公共下水道計画区域に含まれていますが、最適な手法により環境整備を図ります。
- ②首都圏中央連絡自動車道（圏央道）沿道における乱開発の抑制等により、本市の特長の一つである田園景観の保全を図ります。

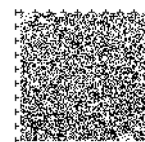
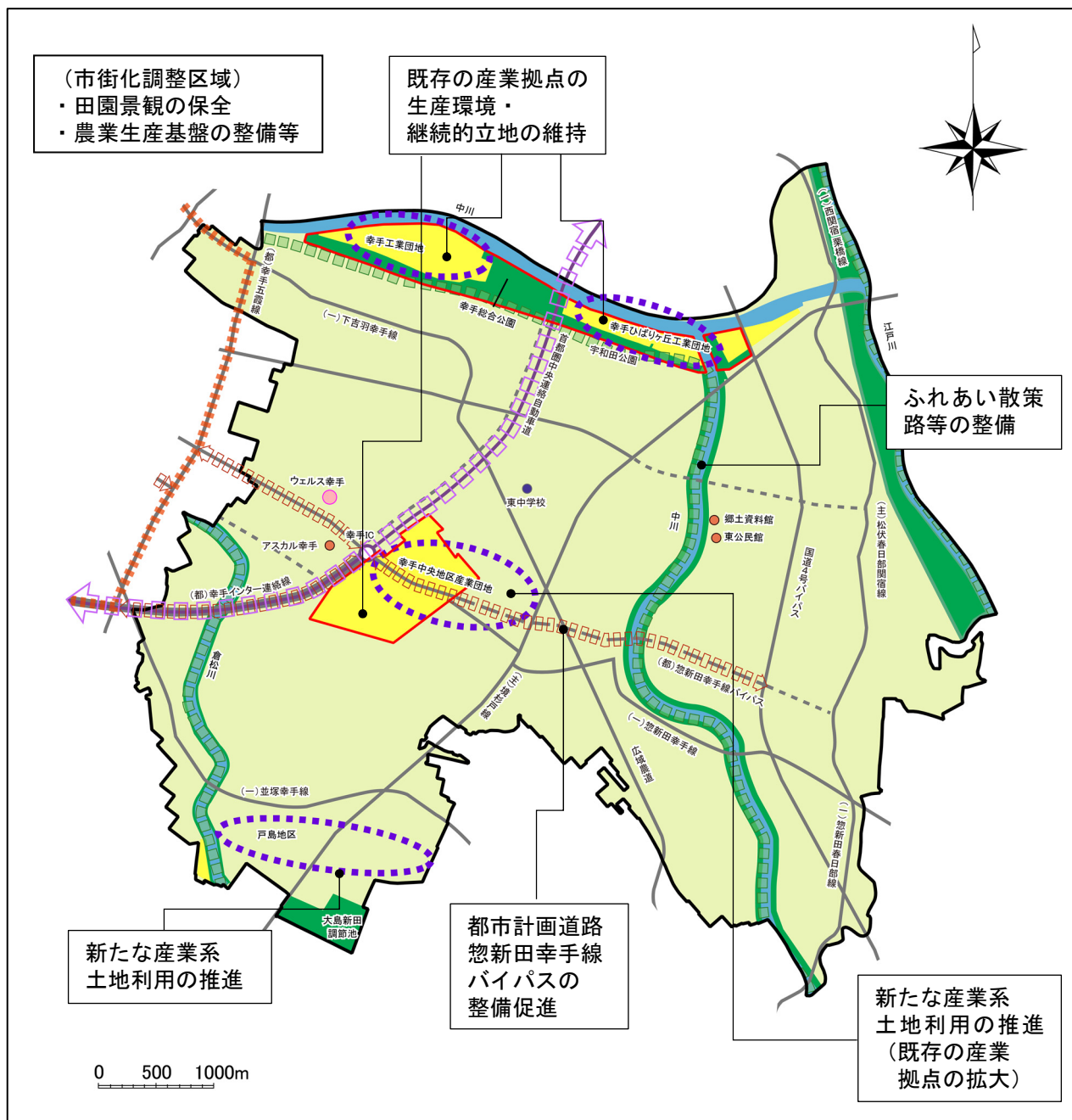


図 東地区のまちづくり方針図



凡 例					
	産業拠点		ICアクセス軸 駅アクセス軸		市街地系ゾーン
	行政・防災拠点		広域連携軸		土地利用保全・ 活用ゾーン
	地域行政拠点・ 社会教育活動拠点		環状軸		水と緑のゾーン
	防災地区拠点		水と緑の軸		
			首都圏中央連絡自動車道 (圏央道)		
			幹線道路		
			幹線道路(未整備)		
			検討路線		
			市街化区域		

※ (都) : 都市計画道路
(主) : 主要地方道
(一) : 一般県道

